

6月から9月は 組織拡大集中期間です

労働組合づくりは子育て4訓と同じ 労働組合づくり研修会を開催

具体的活動

- ① 構成組織は産別方針に基づき、未組織ターゲット企業・組織や未加盟組合など、1組織への訪問活動や意見交換の開催など、一歩前進した取り組みの実施
- ② 地協は組織化に向け連合群馬と情報交換の実施
- ③ 必要に応じて連合群馬組織アドバイザーの帯同訪問や産別意見交換、組織づくりの支援などの連携した取り組みを実施



オルグ活動には未組織企業のオルグ活動用「明日に架ける～最良のパートナーとなる労使関係を求めて」をご活用下さい！



連合群馬では6月20日から24日まで「労働組合づくり相談ダイヤル」を実施し、多くの相談がありました。

現在、2件の組合づくりが進行中です。

6月8日（渋川市勤労福祉センター）、6月15日（太田市浜町勤労会館）の2会場で労働組合づくり学習会を開催し、構成組織・地協役員など全体で89名が参加しました。



自動車総連・山田氏

第1部は自動車総連・山田組織拡大アドバイザーから、組織拡大の留意点や非正規労働者の組織化など実践に沿った講演をいただき、「組織拡大は子育て4訓と同じ。乳児から肌を離すな（肌で信頼関係を築け）そして青年には心を離すな（同じ仲間として活動）」と組織拡大の心得を説明いただきました。

第2部では、連合群馬組織アドバイザーから、組合結成の成功や解散事例について学ぶとともに、大規模事業所組織化の結成後の関わり方、スケールメリットを駆使したフォロー体制の確立が重要であること、連合群馬総体としての対応が必要であることなど説明しました。

まだ終わりのない沖縄戦を想い **平和行動 in 沖縄**

6月23～25日、平和行動in沖縄に産別と地協から16名が参加しました。

1日目は「2011平和オキナワ集会」が那覇市民会館で開催され、「日米地位協定の抜本改革を求めて」と題したシンポジウムに参加しました。

古賀会長から「在日米兵の事件・事故で県民生活に大きな不安が続いている。在日米軍の地位や基地提供に課題があり、運用改善という曖昧な対応ではなく、早期の抜本改定に向け連合として取り組んでいく」と挨拶ならびに決意表明がありました。

2日目は、連合埼玉と合同で、国内唯一の地上戦となった戦跡めぐりを実施し、①群馬の塔への1万6千羽の折鶴献納、②平和祈念資料館やひめゆり平和祈念資料館での学習、③病院壕となったアブチラガマの入壕を行い、沖縄戦の特徴である多くの民間人犠牲の悲惨な状況などを学びました。

沖縄の地では、日米地位協定の問題や不発弾処理にまだ70年以上もかかるなど終わりのない沖縄戦について肌で感じ、恒久平和の意識を高めました。



平和オキナワ集会会場



群馬の塔で1万6千羽を献納